



浜松市議会議長 太田康隆 様

2022年11月7日

行政区再編の是非は、住民投票によって決めることを求める請願

紹介議員 北島 定 小黑啓子

落合勝二 酒井豊実

団体名 住みよいまちをつくる市民の会

住 所 浜松市北区

代表者 手塚 良子

外 7 名

請願趣旨

前回の市長選挙・市議会議員選挙と同時に実施された「行政区再編の是非を問う住民投票」では、「行政区の再編」に反対する有権者が多数となりましたが、市当局はこの結果を「賛否は拮抗している」との分析を行いました。

これに対して、浜松市議会の行財政改革・大都市制度調査特別委員会は、多数決で当局判断を追認し、行政区再編の調査を開始させ、浜松市議会は 2020年9月29日には、法的根拠のない全員協議会で「再編が必要か不必要かを定める投票」を強行し、「再編が必要」が多数となったことから、一気に推進の方向に舵を切りました。

その後の行政区再編協議も、住民に対する説明が極めて不十分なまま進められています。各区の自治会連合会や区協議会での説明が行われたものの、多数の反対意見は無視する中で3区案を「内定」し、新区名の募集まで強引に進められています。

そして、来年2月に開催される定例会には、現在設置されている7区を3区とする「浜松市区及び区協議会の設置等に関する条例」の一部改正案を提出しようとしています。

これまで行政区再編に慎重だった浜松市議会が、なぜ住民不在で推進に舵を切ったのか、その背景に疑念を抱くものです。

「住みよいまちをつくる市民の会」は、こうした住民不在の行政区再編は将来に大きな禍根を残すことになると考え、行政区再編の是非は、住民の意思で決めることを強く求めるものです。

よって下記の項目を請願いたします。

請願項目

- 1 行政区再編の是非は、住民投票によって決めること